案

伊環審第10号 令和3年10月28日 (2021年)

伊丹市長 藤原 保幸 様

伊丹市環境審議会 会長 笠原 三紀夫

(仮称) 統合新病院整備工事に係る環境影響評価準備書について(答申)

令和3 (2021) 年6月2日付、伊市環環第192号により本審議会に諮問されました「(仮称) 統合新病院整備工事に係る環境影響評価準備書」について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申いたします。

なお、答申の趣旨をご理解賜り、(仮称)統合新病院整備工事の事業者に対し、 適切な指導をされるよう要請いたします。 案

(仮称) 統合新病院整備工事に係る 環境影響評価準備書について (答申)

令和3年10月28日 伊丹市環境審議会

1. 全般事項

- (1)交通安全対策
- (ア) 適切な駐車場台数を確保するため、各工事期間の病院利用者や職員等の 駐車台数(確保台数)を環境影響評価書に記載すること。
- (イ) 交通量の実態把握および供用開始後の交通量に関して、交差点の混雑状況を示すため、昆陽交差点等における流入部の需要率、現示の需要率および交差点の需要率を数値として、現況と将来に分けて、環境影響評価書に記載すること。
- (ウ) 交通量調査において、滞留長と渋滞長の調査方法を、環境影響評価書に 記載すること。
- (エ) 交通量調査において、滞留台数の調査結果を、環境影響評価書に記載すること。
- (オ) 病院構内における駐車場管理の方法(駐車場管制システム)について、 具体的に環境影響評価書に記載すること。
- (カ) 工事中の東側道路の安全対策について、具体的に環境影響評価書に記載 すること。

(2)その他

- (ア) 事業概要に事業規模が想定できる病床数や予想される外来者数など医療業務の規模等を、p. 2 表 1-2. 2 の事業の概要に記載すること。
- (イ) 工事計画に基本的な作業日や作業時間(1日の作業時間)を、環境影響 評価書に記載すること。
- (ウ) 工事期間中は,工事予定や連絡先等を地元に周知するための連絡方法等 を環境影響評価書に記載すること。
- (エ) 周辺住民のプライバシーを保護するための措置を行うこと。

2. 個別事項

(1)騒音

- (ア) 救急車のサイレン音については、関係機関と十分な協議を行い、騒音の 低減に努めること。
- (イ) 立体駐車場の東側については防音壁を設置しない理由を、環境影響評価 書に記載するとともに、騒音の低減に努めること。
- (ウ) 施設騒音・一般環境騒音の時間率騒音レベルの測定値については、L_{A50} と共に、L_{A5} と L_{A95} についても、環境影響評価書に示すこと。

(2)振動

- (ア) 振動の測定値については、L₁₀と共に、Lmax についても、環境影響評価書に示すこと。
- (イ) ガスコージェネレーションのガスエンジンについての振動発生状況と

その保全対策を、環境影響評価書に記載するとともに、振動発生の低減に努めること。

(3)日照阻害

- (ア) 日照阻害の将来予測において、日影規制と齟齬があるので日照阻害の記載を修正し、「冬至における現況の日照阻害検討結果」と「将来の日照阻害予測結果」には、2.5時間の等時間日影線図および5mラインを追記すること。また、予測条件を整理し、新しい条件を図面にも記載すること。
- (イ) 立体駐車場による日照阻害ついては、現況と将来がどのように変化する かを明示する等、わかりやすく環境影響評価書に記載すること。

(4)電波障害

(ア) 衛星放送の電波障害について、調査および予測の結果を環境影響評価書 に記載すること。

(5)廃棄物

- (ア) 廃棄物の評価結果に、感染性廃棄物の適正処理についても、環境影響評価書では記載すること。
- (イ) 廃棄物の事後監視調査計画に、調査時期、調査回数を、環境影響評価書では明確に記載すること。

(6)景観

- (ア) 景観資源の選定については、「伊丹市都市景観条例」や「伊丹市景観計画」も踏まえた選定とし、その内容を環境影響評価書に記載すること。
- (イ) 立体駐車場の壁面緑化については、メンテナンスも含めて検討すること。 また、敷地境界と立体駐車場の間に出来るスペースへの植栽についても検 計する等、周辺地域景観との調和に配慮すること。

(7)地球環境

(ア) 地球温暖化防止に配慮した具体的方法を環境影響評価書に記載すること。

(8)動•植物

(ア) 緑化計画については、「伊丹市生物多様性みどりの基本計画 2021」を踏まえ、周辺環境との調和に留意すること。

伊丹市環境審議会および伊丹市環境審議会専門委員会の審議経過

年月日	審議	審議事項
令和3年6月2日	審議会	・環境影響評価準備書について(諮問) ・環境影響評価準備書の審議
令和3年7月21日	専門委員会	・環境影響評価準備書の審議
令和3年9月 1日	専門委員会	・環境影響評価準備書の審議 ・答申(案)骨子の審議
令和3年10月28日	審議会	・環境影響評価準備書の審議 ・答申(案)の審議 ・環境影響評価準備書について(答申)

伊 丹 市 環 境 審 議 会 委 員 名 簿 ((仮 称) 統 合 新 病 院 整 備 エ 事 に 係 る 環 境 影 響 評 価)

(順不同)

区分	氏名(敬称略)		現在の公職等
学識経験者	○笠原	三紀夫	京都大学名誉教授
	○菊井	康夫	弁護士 (菊井法律事務所)
	○塚口	博司	立命館大学名誉教授
	○中野	加都子	甲南女子大学教授(人間科学部生活環境学科)
	吉村	史郎	伊丹市医師会会長 (医師)
	○宮川	雅充	関西学院大学教授 (総合政策学部総合政策学科)
	○杉本	和雄	株式会社環境施設計画顧問
	服部	保	兵庫県立大学名誉教授
	〇田中	栄治 ^{※)}	関西国際大学教授(現代社会学部総合社会学科)
関係団体を 代表する者	長谷川	学	連合兵庫東部地域協議会 幹事
	植木	稔博	伊丹商工会議所 専務理事
関係行政 機関職員	〇木下	勝功	兵庫県阪神北県民局環境参事
公募市民	辻野	文三	市民
	髙見	尚子	市民

○印は、環境審議会専門委員会委員

※印は、環境審議会((仮称)統合新病院整備工事に係る環境影響評価)専門委員